

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 ー分析から見えてきた成果・課題と今後の取組についてー

区 名	東成区
学 校 名	宝栄小学校
学校長名	疋島 和恵

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・宝栄小学校では、第6学年 60名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科の正答率は全国平均値と比較すると3.2ポイント上回っており、大阪市平均値からは5ポイント上回っている。算数科に関しては、全国平均値と大阪市平均値が同じでその平均値より3ポイント上回っている。理科に関しては、全国平均値と比較すると2.9ポイント上回っており、大阪市平均値からは5ポイント上回っている。

国語科においては、過半数の児童の正答率は7割以上である。算数科においては、正答数分布グラフで見ると正答数10問から12問の割合が全国より高い値となっている。理科においては、正答数分布グラフで見ると正答数13問と15問の割合が全国より高い値となっている。

児童質問紙調査からは、「学校に行くのは楽しい」と肯定的に回答する児童の割合は昨年度とほぼ変わらず85.3%で、大阪市平均（84.7%）より上回っているものの全国平均（86.5%）よりは下回っている。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕ほとんどの領域で正答率は全国平均を上回っている。目的や意図に応じて簡単に書いたりくわしく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書く問題では、正答率が全国平均を大きく上回っており、書き表し方を工夫して書くことができていた。但し、短い文章を読み何について書かれているのか選択する問題では、全国平均を下回り、内容を的確に捉え、それにふさわしい言葉を選択することに課題が見られた。

〔算数〕どの領域でも正答率は全国平均を上回っている。平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いてどのように作図を仕上げるか問われた問題や、異分母の分数の足し算の問題では、正答率が全国平均を大きく上回っていた。但し、描かれた四角形の中から台形を選択する問題では、全国平均を大きく下回り、台形の意味や性質についてしっかりと理解が定着していないことが浮き彫りとなった。

〔理科〕どの領域でも全国平均を上回っており、記述式の問題でも全国平均を上回っている。但し、示された文章に適切な言葉を入れるような知識を問われる問題に課題が見られた。

質問調査より

「自分には、よいところがあると思いますか」の問いに肯定的な回答をする児童の割合は昨年度（83%）と比べると増加し93.5%であった。また、「友達関係に満足していますか」

（95.1%）「人が困っているときは、進んで助けていますか」（91.9%）からは、仲間意識を高く持ち学校生活を送っていることがうかがえる。

「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」の問いに肯定的な回答をする児童の割合は77.1%で大阪市平均値（82.8%）全国平均値（84.9%）より下回っている。自分の意見や考えに自信がない児童や、自分の意見や考えを伝えることが苦手な児童がみられる。

今後の取組(アクションプラン)

- ・学級や縦割り班活動などで、児童の活躍の場を設けたり、PBS（ポジティブ行動支援）に基づき、望ましい行動を育てる集団を育成するための取り組みを実施したりすることで、児童の自尊感情や自己肯定感を育てていく。

- ・授業の中で学習形態（ペアやグループ等）を工夫し、対話できる場を作ることで自分の意見を言ったり、友達の意見を聞いたりする経験を積み重ねる。

- ・算数科を研究科目として、個別最適な学びと協同的な学びの充実とICT利活用を目指し研究に取り組んでいる。引き続き授業力の向上を目指し研究を進める。

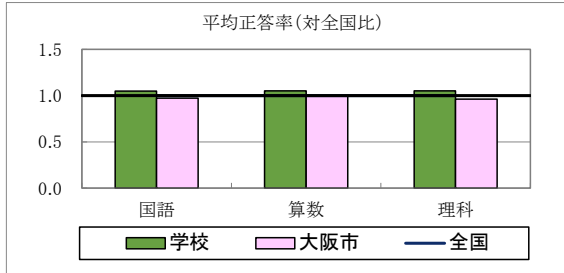
- ・国語科では、これまで研究の中心としてきた読解力を高める指導をベースに授業に進める。

- ・理科では、引き続き実験や観察を通して自分の言葉で結果・考察を記述し、知識・理解を深めることができるよう授業を進める。

【 全体の概要 】

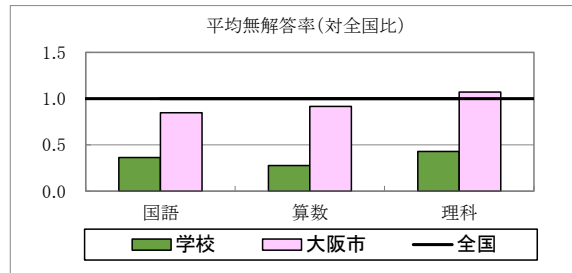
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	70	61	60
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



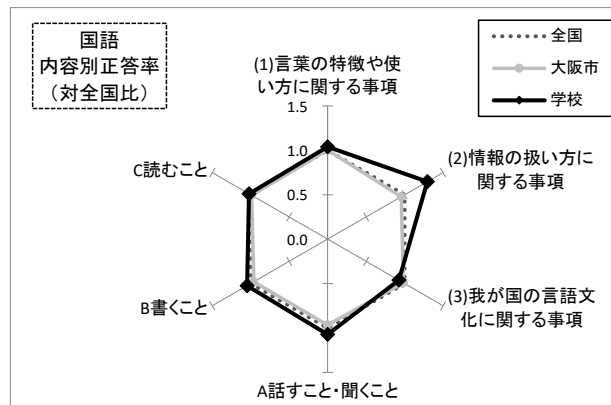
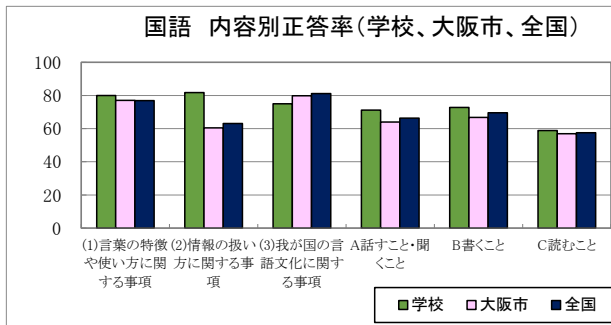
平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	1.2	1.0	1.2
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



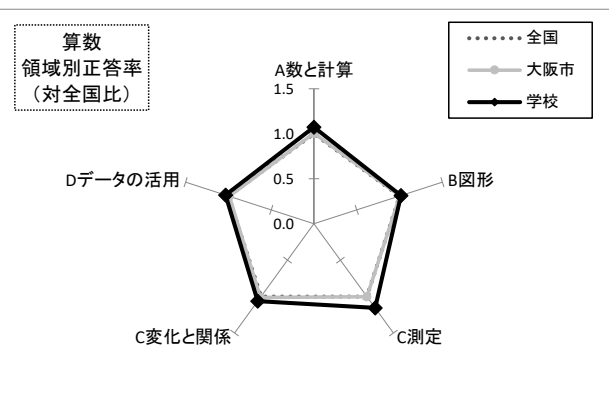
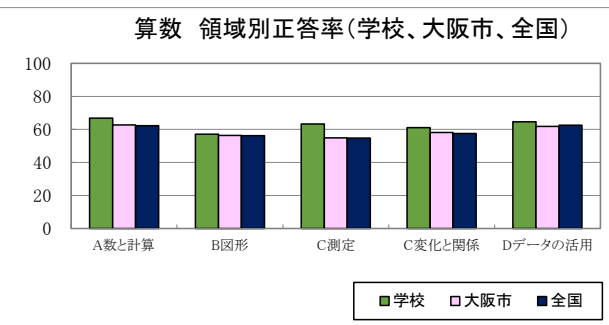
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	80.0	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	81.7	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	75.0	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	71.1	64.0	66.3
B 書くこと	3	72.8	66.7	69.5
C 読むこと	4	58.8	56.9	57.5



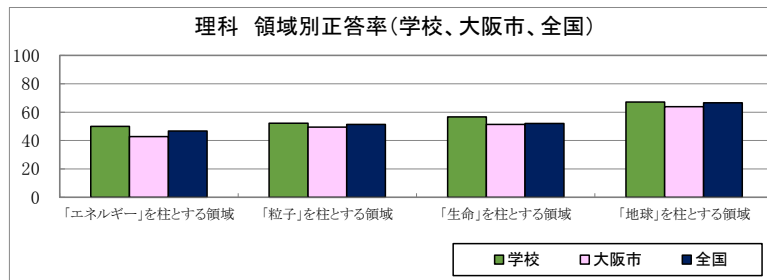
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	66.9	62.7	62.3
B 図形	4	57.1	56.4	56.2
C 測定	2	63.3	54.9	54.8
C 変化と関係	3	61.1	58.2	57.5
D データの活用	5	64.7	61.9	62.6

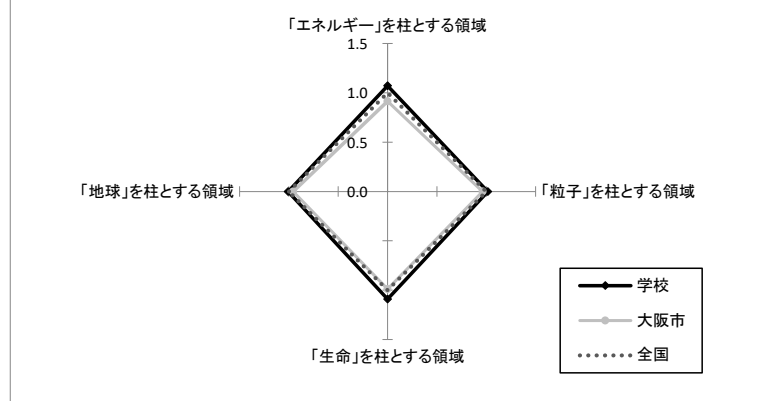


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	50.0	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	52.2	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	56.7	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	67.2	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



児童質問より

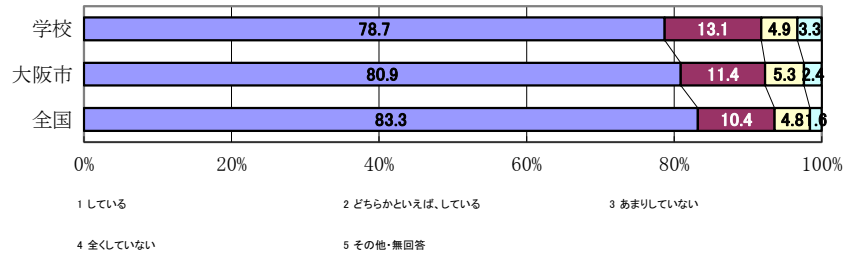
質問番号

質問事項

1

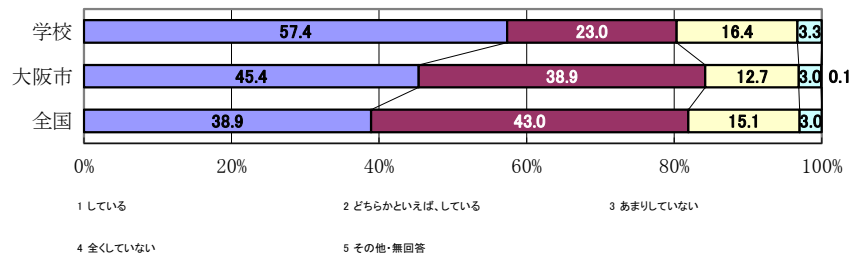
朝食を毎日食べていますか

1 2 3 4 5 6 7 8



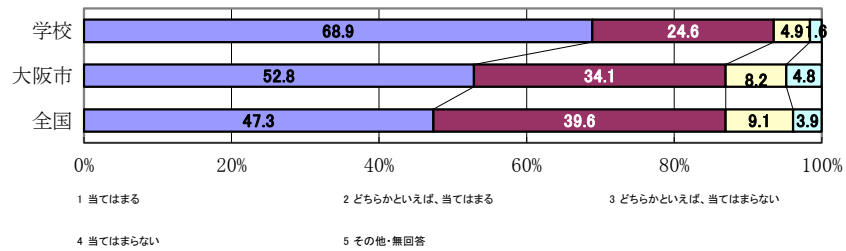
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



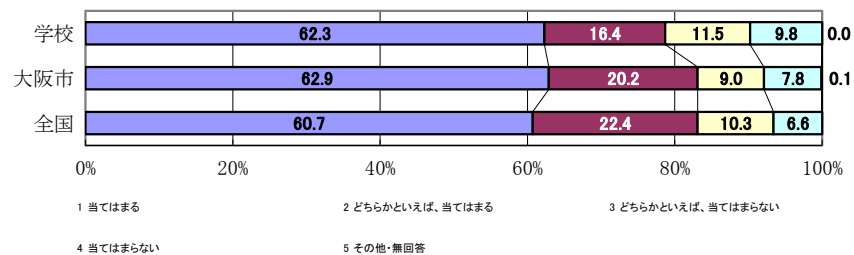
5

自分には、よいところがあると思いますか



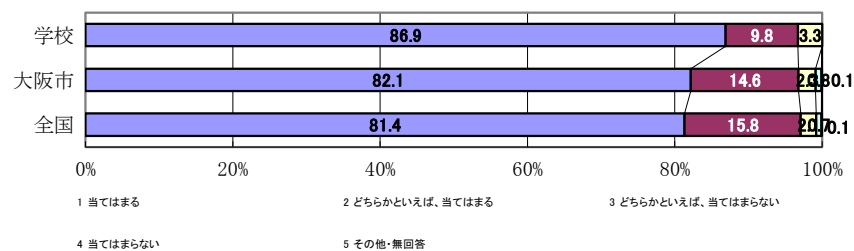
7

将来の夢や目標を持っていますか



9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



児童質問より

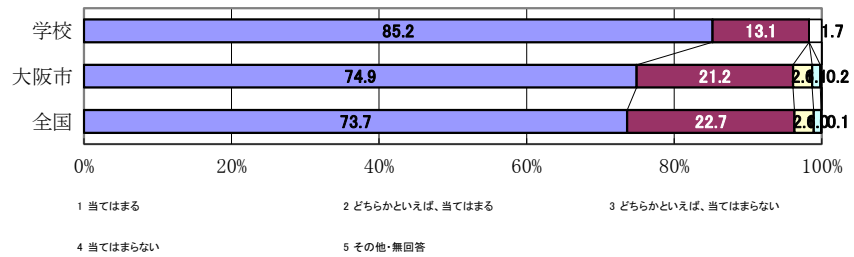
質問番号

質問事項

11

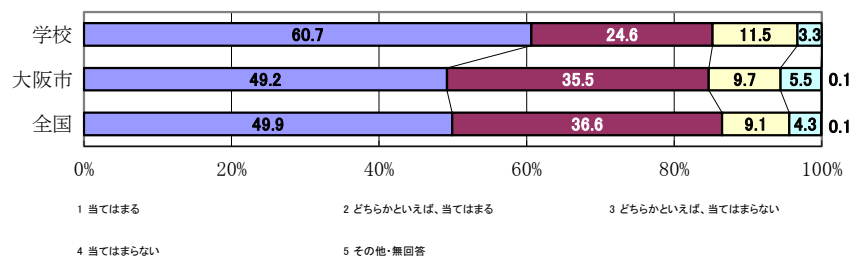
人の役に立つ人間になりたい
と思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8



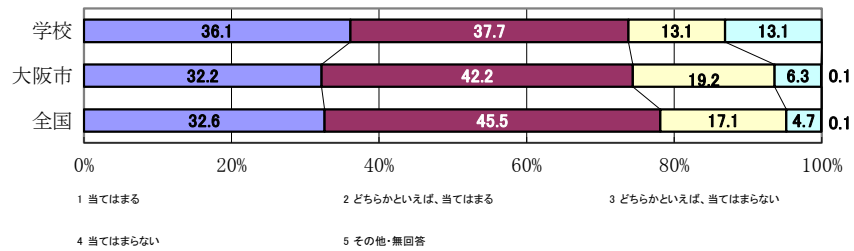
12

学校に行くのは楽しいと思っ
ますか



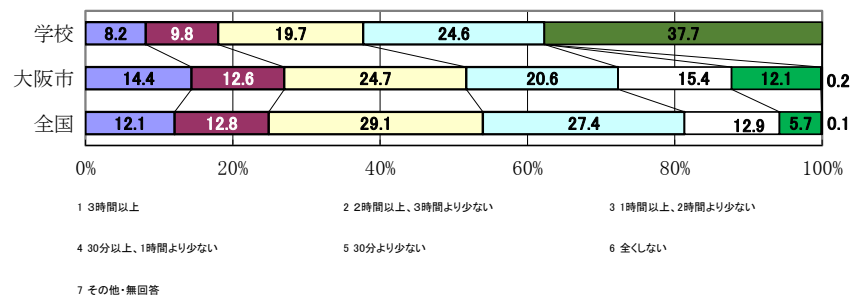
13

自分と違う意見について考え
るのは楽しいと思えますか



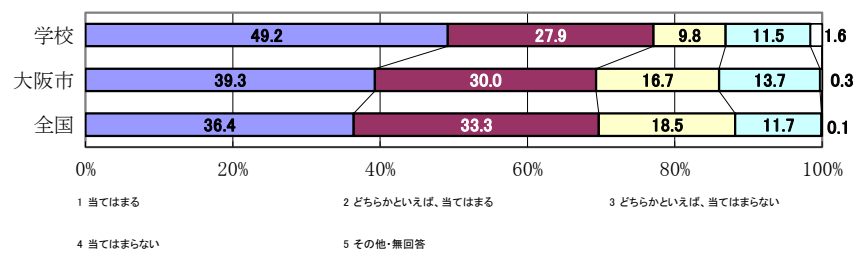
17

学校の授業時間以外に、普段
(月曜日から金曜日)、1日当
たりどれくらいの時間、勉強を
しますか(学習塾で勉強してい
る時間や家庭教師の先生に
教わっている時間、インター
ネットを活用して学ぶ時間も含
む)



24

読書は好きですか



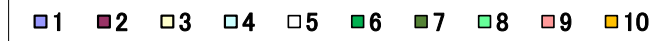
学校質問より

質問番号

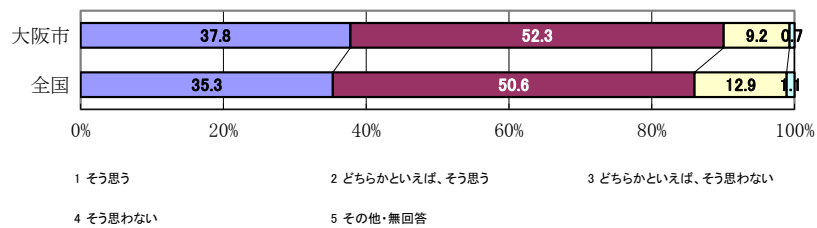
質問事項

8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか



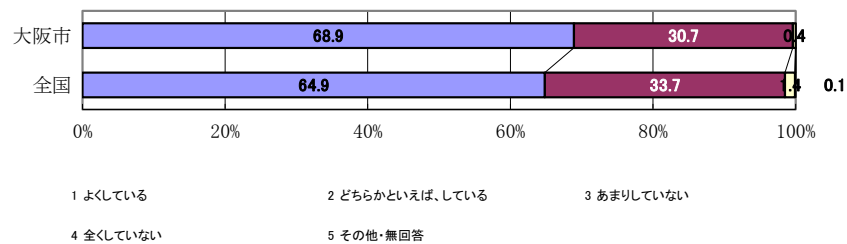
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

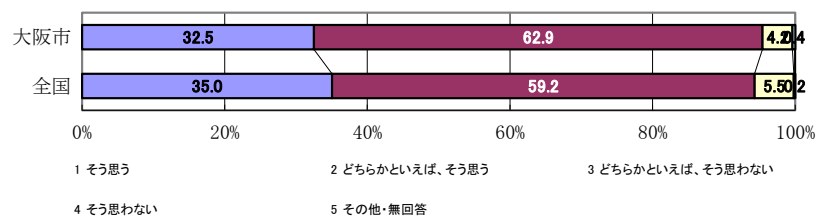
学校 「よくしている」を選択



28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

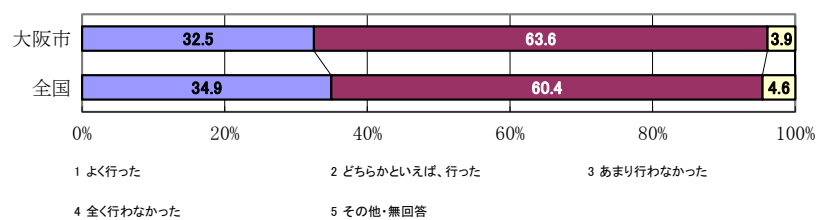
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



31

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



37

調査対象学年の児童に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるように指導を行っていますか

学校 「よくしている」を選択

